

期 間 入 札 の 公 告

令和 8年 6月26日

東京地方裁判所立川支部民事第4部

裁判所書記官 小 林 裕 子

別紙物件目録記載の不動産を下記のとおり期間入札に付します。

記

入札期間	令和 8年 7月15日 午前 9時00分から 令和 8年 7月22日 午後 5時00分まで
開札期日	日 時 令和 8年 7月28日 午前10時00分 場 所 東京地方裁判所立川支部売却場
売却決定 期日	日 時 令和 8年 8月12日 午前11時00分 場 所 東京地方裁判所立川支部民事第4部
特別売却 実施期間	令和 8年 7月29日 午前10時00分から 令和 8年 7月31日 午後 5時00分まで
買受申出の保証の 提供方法	下記のいずれかによる。 (1) 当裁判所の預金口座に金銭を振り込んだ旨の金融機関の証明書 (2) 銀行または損害保険会社の支払保証委託契約締結証明書
買受申出の資格の 制限 (民事執行規 則33条)	☆印を付した物件は農地であるので、権限を有する行政庁の交付した買受適格証明書を有する者及び買受けについて農地法上の許可又は届出を必要としない者に限り、買受申出をすることができます。
一般の閲覧に供するため、物件明細書・現況調査報告書・評価書の各写しを令和 8年 6月26日から当庁物件明細書等閲覧室に備え置きます。	



物 件 目 録

- 1 所 在 青梅市勝沼三丁目
地 番 92番4
地 目 宅地
地 積 131.11平方メートル
- 2 所 在 青梅市勝沼三丁目92番地4
家屋 番号 92番4
種 類 居宅
構 造 木造瓦葺2階建
床 面 積 1階 57.91平方メートル
2階 48.60平方メートル
- (附属建物)
- 符 号 1
種 類 物置
構 造 木造亜鉛メッキ鋼板葺平家建
床 面 積 5.76平方メートル



物件明細書

令和 8年 5月15日

東京地方裁判所立川支部民事第4部

裁判所書記官 千葉 容子

-
- 1 不動産の表示
【物件番号1, 2】
別紙物件目録記載のとおり

 - 2 売却により成立する法定地上権の概要
なし

 - 3 買受人が負担することとなる他人の権利
【物件番号1, 2】
なし

 - 4 物件の占有状況等に関する特記事項
【物件番号2】
本件所有者が占有している。

 - 5 その他買受けの参考となる事項
なし

《 注 意 書 》

- 1 本書面は、現況調査報告書、評価書等記録上表れている事実等を記載したものであり、関係者間の権利関係を最終的に決める効力はありません（訴訟等により異なる判断がなされる可能性もあります。）。
- 2 記録上表れた事実等がすべて本書面に記載されているわけではありませんし、記載されている事実や判断も要点のみを簡潔に記載されていますので、必ず、現況調査報告書及び評価書並びに「物件明細書の詳細説明」も御覧ください。
- 3 買受人が、占有者から不動産の引渡しを受ける方法として、引渡命令の制度があります。引渡命令に関する詳細は、「引渡命令の詳細説明」を御覧ください。
- 4 対象不動産に対する公法上の規制については評価書に記載されています。その意味内容は「公法上の規制の詳細説明」をご覧ください。
- 5 各種「詳細説明」は、閲覧室では通常別ファイルとして備え付けられています。このほか、BITシステムの「お知らせ」メニュー内の各裁判所にある「競売ファイル・競売手続説明書」にも掲載されています。



物件目録

- 1 所 在 青梅市勝沼三丁目
地 番 92番4
地 目 宅地
地 積 131.11平方メートル
- 2 所 在 青梅市勝沼三丁目92番地4
家屋 番号 92番4
種 類 居宅
構 造 木造瓦葺2階建
床 面 積 1階 57.91平方メートル
2階 48.60平方メートル
- (附属建物)
- 符 号 1
種 類 物置
構 造 木造亜鉛メッキ鋼板葺平家建
床 面 積 5.76平方メートル



令和7年(ケ)第302号
令和8年3月16日受理
令和8年4月13日提出
(評価人:山崎俊治)

現況調査報告書

東京地方裁判所立川支部
執行官 佐治 憲彦

物 件 目 録

- 1 所 在 青梅市勝沼三丁目
地 番 92番4
地 目 宅地
地 積 131.11平方メートル
- 2 所 在 青梅市勝沼三丁目92番地4
家屋 番号 92番4
種 類 居宅
構 造 木造瓦葺2階建
床 面 積 1階 57.91平方メートル
2階 48.60平方メートル
- (附属建物)
- 符 号 1
種 類 物置
構 造 木造亜鉛メッキ鋼板葺平家建
床 面 積 5.76平方メートル



不動産の表示	「物件目録」のとおり
住居表示	東京都青梅市勝沼三丁目9番地4（住居表示未実施）
土地	物件1
現況地目	■宅地（物件1） □公衆用道路（物件 ） □ （物件 ）
形状	□公図のとおり □地積測量図のとおり □建物図面（各階平面図）のとおり ■土地建物位置関係図のとおり □
占有者及び占有状況	■土地所有者 □その他の者 上記の者が本土地上に下記建物を所有し、占有している □ 「占有者及び占有権原」のとおり
下記以外の建物（目的外建物）	■ない □ある（詳細は「目的外建物の概況」のとおり）
その他の事項	
建物	物件2
種類、構造及び床面積の概略	■公簿上の記載とほぼ同一である □公簿上の記載と次の点が異なる（□主たる建物 □附属建物） □種類： □構造： □床面積：
物件目録にない附属建物	■ない □ある — 種類： 構造： 床面積：
占有者及び占有状況	■建物所有者 □その他の者 上記の者が本建物を 事務所（空室）として使用している □ 「占有者及び占有権原」のとおり
上記以外の敷地（目的外土地）	■ない □ある（詳細は「目的外土地の概況」のとおり）
その他の事項	
執行官保管の仮処分	■ない □ある □ 地方裁判所 支部 令和 年（ ）第 号 保管開始日 令和 年 月 日
土地建物の位置関係	□建物図面（各階平面図）のとおり ■土地建物位置関係図のとおり

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

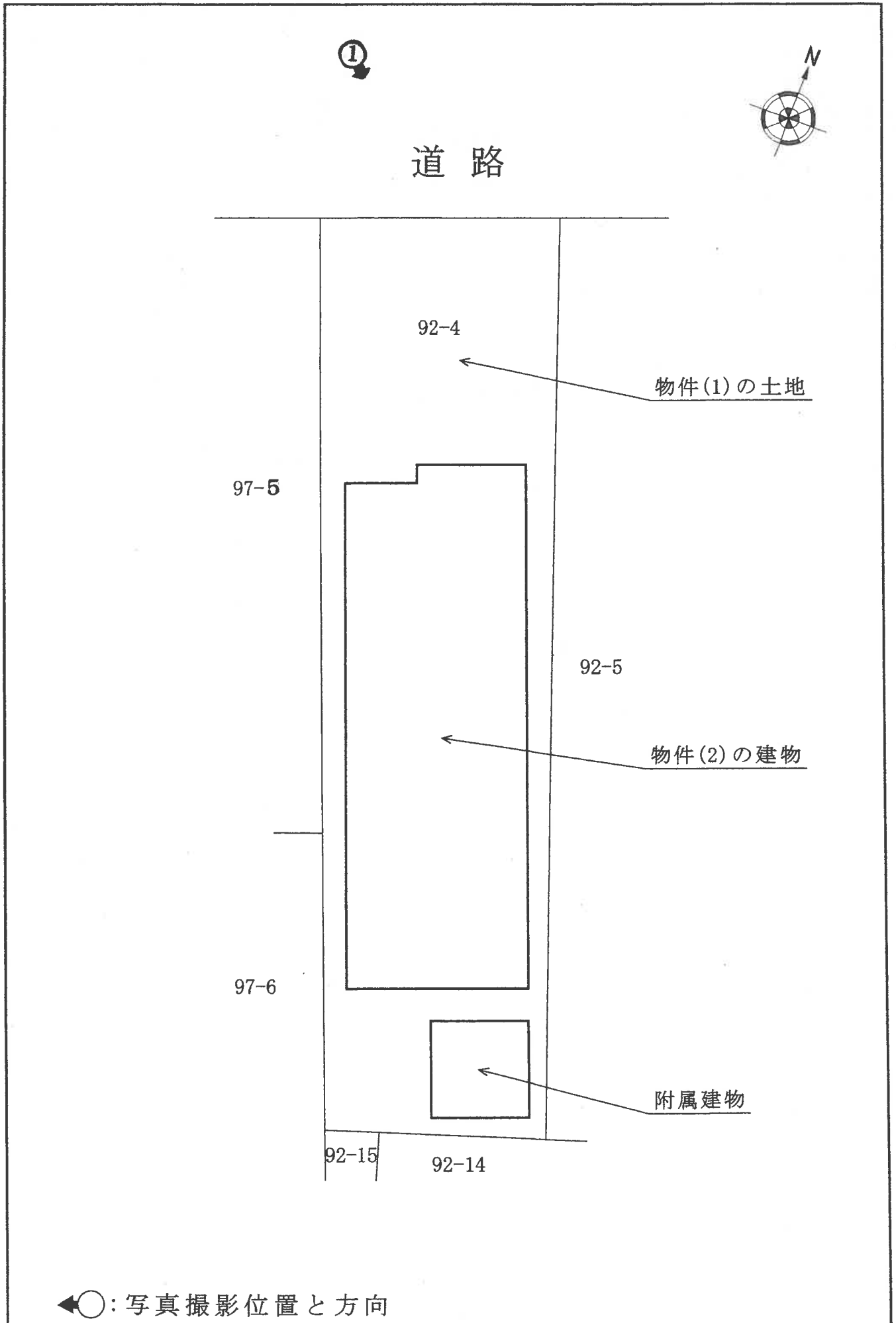
執行官の意見

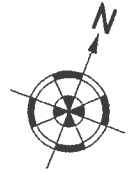
- 1 本物件の状況は、土地建物位置関係図、建物間取図及び添付写真のとおりである。
- 2 本件建物は、令和8年3月27日の調査期日において、室内に立ち入ったところ、居住者の存在を推認させる徴表はなく、残置動産の状況から法人事務所として使用されていた形跡が窺われた。
- 3 本件建物の占有状況については、郵便受け表示、公共料金関係書類の存在及び現場の使用状況から2枚目のとおり報告する。

以上

調査の経過		
調査の日時	調査の場所等	調査の方法等
令和8年3月19日 10:8-10:15	物件所在地	<input checked="" type="checkbox"/> 物件確認 <input checked="" type="checkbox"/> 物件調査 <input checked="" type="checkbox"/> 占有調査 <input checked="" type="checkbox"/> 外観写真撮影 <input type="checkbox"/> 立入調査 <input type="checkbox"/> 図面作成 <input type="checkbox"/> 写真撮影 <input checked="" type="checkbox"/> 居住者に対し、臨場日時通知書差置
令和8年3月27日 12:15-12:43	物件所在地	<input checked="" type="checkbox"/> 立入調査 <input checked="" type="checkbox"/> 物件調査 <input checked="" type="checkbox"/> 占有調査 <input checked="" type="checkbox"/> 写真撮影 <input checked="" type="checkbox"/> 図面作成 <input checked="" type="checkbox"/> 評価人同行
年 月 日 () : - :		
年 月 日 () : - :		
年 月 日 () : - :		
年 月 日 () : - :		
年 月 日 () : - :		
(特記事項) <input type="checkbox"/> 令和 年 月 日 目的物件は不在で施錠されていることも予想されたので、立会人及び解錠技術者を同行して臨場した。 <input checked="" type="checkbox"/> 令和8年3月27日 目的物件は不在で施錠されていたので、立会人 A を立ち会わせ、技術者に解錠させて建物内に立ち入った。 <input type="checkbox"/> 令和 年 月 日 休日・夜間執行許可の提示をした。 <input checked="" type="checkbox"/> 写真3枚添付		

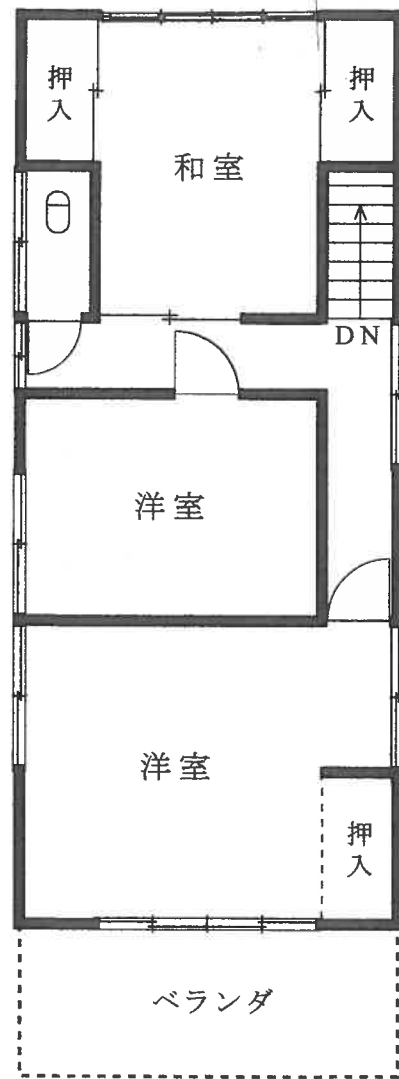
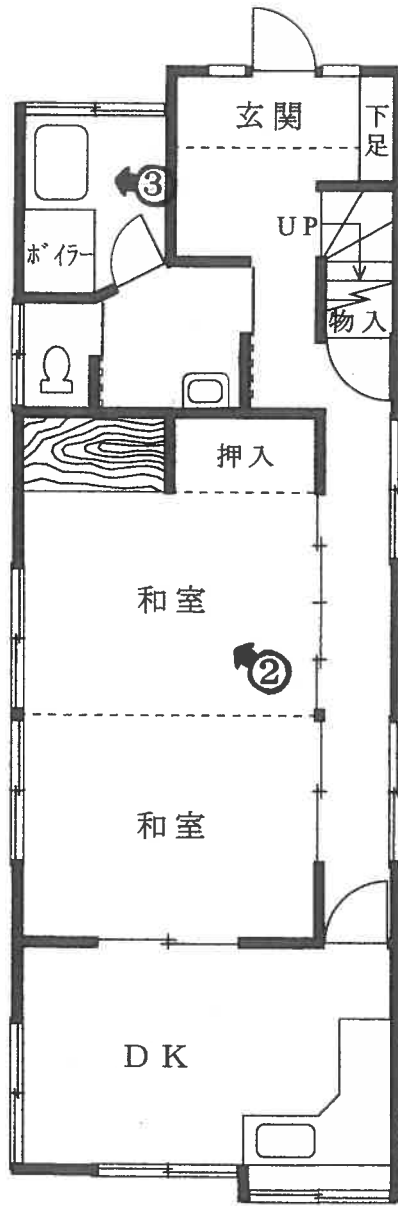
(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり





1階

2階



附属建物

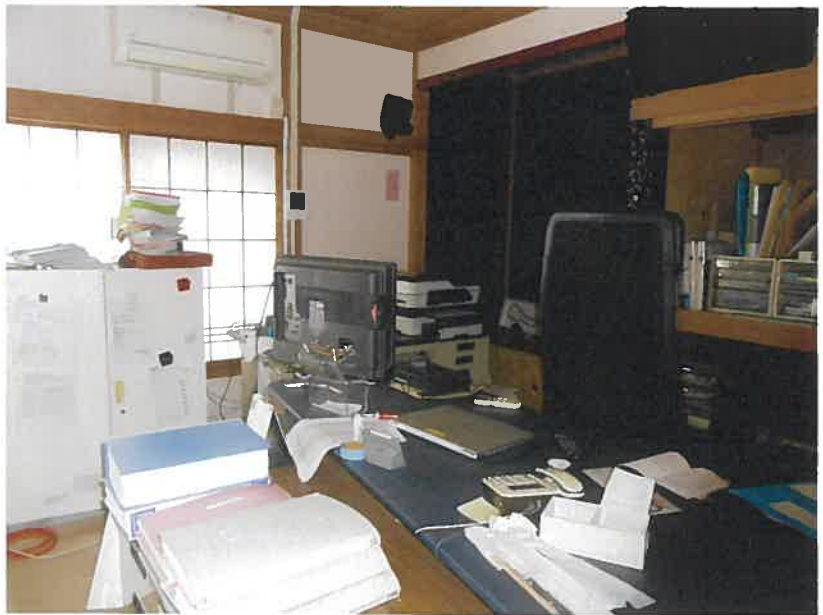


←○: 写真撮影位置と方向

1



2



3



(7 枚目)

令和7年（ケ）第302号
令和8年3月27日 現地調査
令和8年4月16日 評価

東京地方裁判所立川支部
民事第4部不動産執行係 御中

評 価 書

評価人 山崎 俊治

第1 評価額

一 括 価 格	
金 11,020,000 円	
内 訳 価 格	
物件1 (土地)	金 3,030,000 円
物件2 (建物)	金 7,990,000 円

- 1 一括価格は、物件1及び物件2の各不動産について、一括売却（民事執行法第61条本文）を行うことを前提とした場合の合計価格である。
- 2 内訳価格は、配当等の判断のために一括価格の内訳として算出した価格である。
- 3 物件1の内訳価格は、物件2のための土地利用権等価格を控除した価格であり、物件2の内訳価格は、当該土地利用権等付建物としての価格である。

第2 評価の条件

- 1 本件評価は、民事執行法により売却に付されることを前提とした適正価格を求めるものである。
したがって、求めるべき評価額は、一般の取引市場において形成される価格ではなく、一般の不動産取引と比較して競売不動産特有の各種の制約（売主の協力が得られないことが常態であること、買受希望者は内覧制度によるほかは物件の内部の確認が直接できないこと、引渡しを受けるために法定の手続をとらなければならない場合があること、目的物の種類又は品質に関する不適合には担保責任がないこと等）等の特殊性を反映させた価格とする。
- 2 評価は、目的物件の調査時点における現状に基づいて行うものであり、調査日以降発生した物件の現状変更については原則として考慮していない。
- 3 現地での物件調査は、原則として目視可能な部分に限定される。
- 4 物件に関する情報提供の内容は、民事執行法第58条第4項に定める場合を除いて、原則として公共機関で公開された資料に基づくものである。

第3 目的物件

番号	所在等	登記	現況
1	次頁物件目録記載のとおり		同左
2	次頁物件目録記載のとおり		同左
番号	特記事項		
	特になし		

物 件 目 録

- | | | |
|---|--------|----------------------------------|
| 1 | 所 在 | 青梅市勝沼三丁目 |
| | 地 番 | 92番4 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 131.11平方メートル |
| 2 | 所 在 | 青梅市勝沼三丁目92番地4 |
| | 家屋 番号 | 92番4 |
| | 種 類 | 居宅 |
| | 構 造 | 木造瓦葺2階建 |
| | 床 面 積 | 1階 57.91平方メートル
2階 48.60平方メートル |
| | (附属建物) | |
| | 符 号 | 1 |
| | 種 類 | 物置 |
| | 構 造 | 木造亜鉛メッキ鋼板葺平家建 |
| | 床 面 積 | 5.76平方メートル |

第4 目的物件の位置・環境等

1 土地の概況及び利用状況等（物件1）

位置・交通	JR青梅線「東青梅」駅の西方道路距離約650m(徒歩約8分)、「青梅」駅の東方道路距離約750m(徒歩約9分)に位置する。(附属資料「位置図」参照)	
付近の状況	近隣は、青梅市中心市街地の旧青梅街道沿いに位置する住・商混在地域であり、低層戸建住宅、店舗併用住宅、共同住宅等が建ち並んでいる。古くからの街道沿いであるが、繁華性は乏しく、住的利用が中心である。	
主な公法上の規制等 (道路の幅員等の個別的な規制を考慮しない一般的な規制)	都市計画区分 用途地域 建蔽率 容積率 防火規制 その他の規制	市街化区域 近隣商業地域 80% 300% 準防火地域 第3種高度地区 日影規制(二) 青梅市の美しい風景を育む条例(一般地区)
画地の状況	地積 形状 間口・奥行 地勢 その他	131.11㎡ 長方形 間口約6m、奥行約23m ほぼ平坦 法務局備付の地積測量図(令和元年6月作製)が存する。
接面道路の状況等	略北側が幅員12m前後の舗装都道(建築基準法第42条1項1号に該当)にほぼ等高に接面する中間画地。 ◇ 当該都道に重なる様に計画幅員12mの都市計画道路「青3・5・12(昭和36年10月5日都市計画決定)」が存する。青梅市都市計画課で確認したところ、都市計画道路予定線の正確な位置は不明であり、本件土地の一部が都市計画道路予定地を含むか否かについては、分からないとのこと。なお、本件においては都市計画道路予定地を含むとしても、僅かの範囲であること、事業実施時には正常価格で補償されること、事業実施時期が未定であること、本件建物の建付地部分は該当しないこと等を勘案し、減価不要と判断した。	
土地の利用状況等	物件1土地は、物件2建物の敷地として利用されている。 (建物の配置は附属資料「建物図面・各階平面図写」参照)	
供給処理施設 (基本的には敷地内への引き込みの有無を基準としている)	上水道 都市ガス 下水道	有り 有り 有り

土地の履歴等	本件建物の敷地として利用される以前の地歴について、過去の住宅地図等で調査したところ、昭和48年頃は戸建住宅の敷地として利用されていたことが確認された。
特記事項	—

2 建物の概況及び利用状況等（物件2）

区 分	主である建物	
建 築 時 期 及 び 経 済 的 残 存 耐 用 年 数	建築年月日(登記記載) 経 過 年 数 経済的残存耐用年数	昭和51年12月22日新築 約49年 経済的耐用年数は既に満了しているものと判断。
仕 様	構 造 屋 根 外 壁 内 壁 天 井 床 設 備 そ の 他	木造2階建 瓦葺 吹付仕上げ、タイル貼等 クロス貼等 板張り等 フローリング等 水廻り(台所、洗面所、浴室、トイレ)等 ベランダあり。
現 況 床 面 積	1階： 57.91 m ² 2階： 48.60 m ² 延 106.51 m ²	
現 況 用 途 等	現 況 用 途 間 取 り	居宅(5DK) 1階： DK、和室2、洗面所、浴室、トイレ等 2階： 洋室2、和室、トイレ等
品 等	中 位	
保守管理の状況	普 通	
建物の利用状況等	現況調査報告書のとおりである。 ◇ 占有減価の要因はない。	
特 記 事 項	① 検査済証の交付記録(昭和51年12月25日)がある。 ② 1階の和室2室は簡易なリフォームが実施されている模様であり、デスクや応接セットが残置されており、直近まで事務スペースとして利用されていた模様であった。その他の部屋は簡易な補修等は認められるものの、リフォームは実施されていない模様であり、経年に伴う汚れ、劣化、摩耗、損傷、機能的陳腐化等が認められる状況で、物置や休憩スペース等として利用されていた模様であった。 ③ 所有者が不在であり、建物及び設備の不具合の有無については確認できなかったため、留意を要する。なお、浴室は物置として利用されており、ボイラー等が設置されていたとみられる箇所にボイラーは見当たらなかった。	

区 分	附属建物	
建 築 時 期 及 び 経 済 的 残 存 耐 用 年 数	建 築 年 月 日 (登 記 記 載) 経 過 年 数 経 済 的 残 存 耐 用 年 数	昭 和 51 年 12 月 22 日 新 築 約 49 年 経 済 的 耐 用 年 数 は 既 に 満 了 し て い る も の と 判 断 。
仕 様	構 造 屋 根 外 壁 内 壁 天 井 そ の 他	木 造 平 家 建 亜 鉛 メ ッ キ 鋼 板 葺 亜 鉛 メ ッ キ 鋼 板 等 現 し 等 現 し 等 —
現 況 床 面 積	5.76 m ²	
現 況 用 途 等	物 置	
品 等	中 位 の 下	
保 守 管 理 の 状 況	劣 る	
建 物 の 利 用 状 況 等	主 である 建 物 の 物 置 と し て 利 用 さ れ て い る。 ◇ 占 有 減 価 の 要 因 は な い。	
特 記 事 項	新 築 時 から 約 49 年 経 過 し た 簡 易 な 物 置 で あり、建 物 の 現 況 及 び 保 守 管 理 の 状 況 等 を 考 慮 し た 結 果、既 に 経 済 的 耐 用 年 数 は 満 了 し て い る も の と 判 断 し た。	

第5 評価額算出の過程

1 基礎となる価格

① 物件1（土地）

目的土地の建付地価格を次のとおり求めた。

物件 番号	更地価格		地 積 (m ²) ウ	建付減価 エ	建付地価格 (円) オ＝ア×イ×ウ×エ
	標準画地価格 (円/m ²) ア	個別格差 イ			
1	134,000	× 0.90	× 131.11	× 0.80	= 12,650,000

※総額(円)については、1万円未満四捨五入とした(以下同じ)。

ア 標準画地価格：下記規準価格を中心に、その他の価格資料等を斟酌して地域の標準画地の価格を求めた。

なお、標準画地は、近隣において土地の概況(間口、奥行、規模等)及び利用状況等が標準的な中間画地を想定した。

【地価公示地 青梅5-2】

$$\begin{array}{cccccc}
 \text{(公示価格)} & & \text{(時点修正)} & & \text{(標準化補正)} & & \text{(地域格差)} & & \text{(規準価格)} \\
 133,000\text{円/m}^2 & \times & \frac{100.5}{100} & \times & \frac{100}{97.5} & \times & \frac{100}{102} & = & 134,000\text{円/m}^2 \\
 & & & & & & & & \text{(上三桁未満四捨五入)}
 \end{array}$$

時 点 修 正：令和8年1月1日から評価日までの推定変動率である。

標準化補正：角地、敷地後退を考慮した。

地 域 格 差：地価公示地の所在地域と対象不動産の所在地域を比較して、交通接近条件、街路条件、環境条件、行政的条件等を総合的に考量して判定した。

イ 個 別 格 差：下記の個別的要因を考慮して個別格差率を以下のとおり査定した。

・奥行長大：-10 %

ウ 地 積：登記数量による。

エ 建 付 減 価：敷地と建物との関連性等を考慮し、▲20%と判断した。

② 物件2（建物）

目的建物の再調達原価を、建物建築費の推移動向を考慮した標準的な建築費に比準して求め、これに耐用年数に基づく方法及び観察減価法を併用して求めた現価率を乗じて、次のとおり建物価格を求めた。

物件番号 2	再調達原価 (円/m ²) ア	現況延床面積 (m ²) イ	現価率 ウ	建物価格 (円) エ＝ア×イ×ウ
主である建物	210,000	× 106.51m ²	× 0.05	= 1,120,000
附属建物	100,000	× 5.76m ²	× 0.01	= 10,000
合 計				1,130,000

ア 再調達原価：対象建物の現状の使用資材、施工の程度等を観察し、その仕様の標準的な原価を採用した。

イ 現況延床面積：登記数量による。

ウ 現 価 率：建物の現価率を下記のとおり判定した。

〔主である建物〕

対象建物は新築時から約49年経過した木造の戸建住宅であり、建物の現況及び保守管理の状況等を考慮した結果、既に経済的耐用年数は満了しているものと判断した。よって、建物の現価率を残価率相当の5%と判定した。

残価率	5%
経過年数	約49年
経済的残存耐用年数	—
観察減価率	—

〔附属建物〕

対象建物は新築時から約49年経過した木造の簡易な物置であり、建物の現況及び保守管理の状況等を考慮した結果、既に経済的耐用年数は満了しているものと判断した。よって、建物の現価率を残価率相当の1%と判定した。

残価率	1%
経過年数	約49年
経済的残存耐用年数	—
観察減価率	—

2 評価額の判定

前記により求めた価格に、土地については土地利用権等価格を控除し、建物については土地利用権等価格を加算し、さらに競売市場修正等を施して、下記のとおり評価額を決定した。

① 土地利用権等価格

物件番号	建付地価格(円) ア	土地利用権等割合 イ		土地利用権等価格(円) ウ=ア×イ
1	12,650,000	× 0.70	法定地上権	= 8,860,000

ア 建付地価格：前記1 ① オ

イ 土地利用権等割合：売却により法定地上権が成立するものと解される。法定地上権割合は、近隣における借地権の取引慣行、課税上の割合等を参考に、建物の性質、地上権としての特性等を勘案して判定した。

② 内訳価格及び一括価格

物件番号	基礎となる価格(円) ア	土地利用権等価格の控除及び加算(円) イ	占有減価修正 ウ	市場性修正 エ	競売市場修正 オ	評価額(円) カ= (ア±イ)×ウ×エ×オ
1	12,650,000	- 8,860,000		× 1.0	× 0.8	= 3,030,000
2	1,130,000	+ 8,860,000	× 1.0	× 1.0	× 0.8	= 7,990,000
一括価格(合計)						11,020,000

ア 基礎となる価格：前記1

イ 土地利用権等価格：上記2 ① ウ

ウ 占有減価修正：必要なし

エ 市場性修正：必要なし

オ 競売市場修正：「第2 評価の条件」欄記載の不動産競売市場の特殊性等を考慮した修正を行った。

第6 参考価格資料

【 指標とした公示価格等 】

地価公示地「青梅5-2」

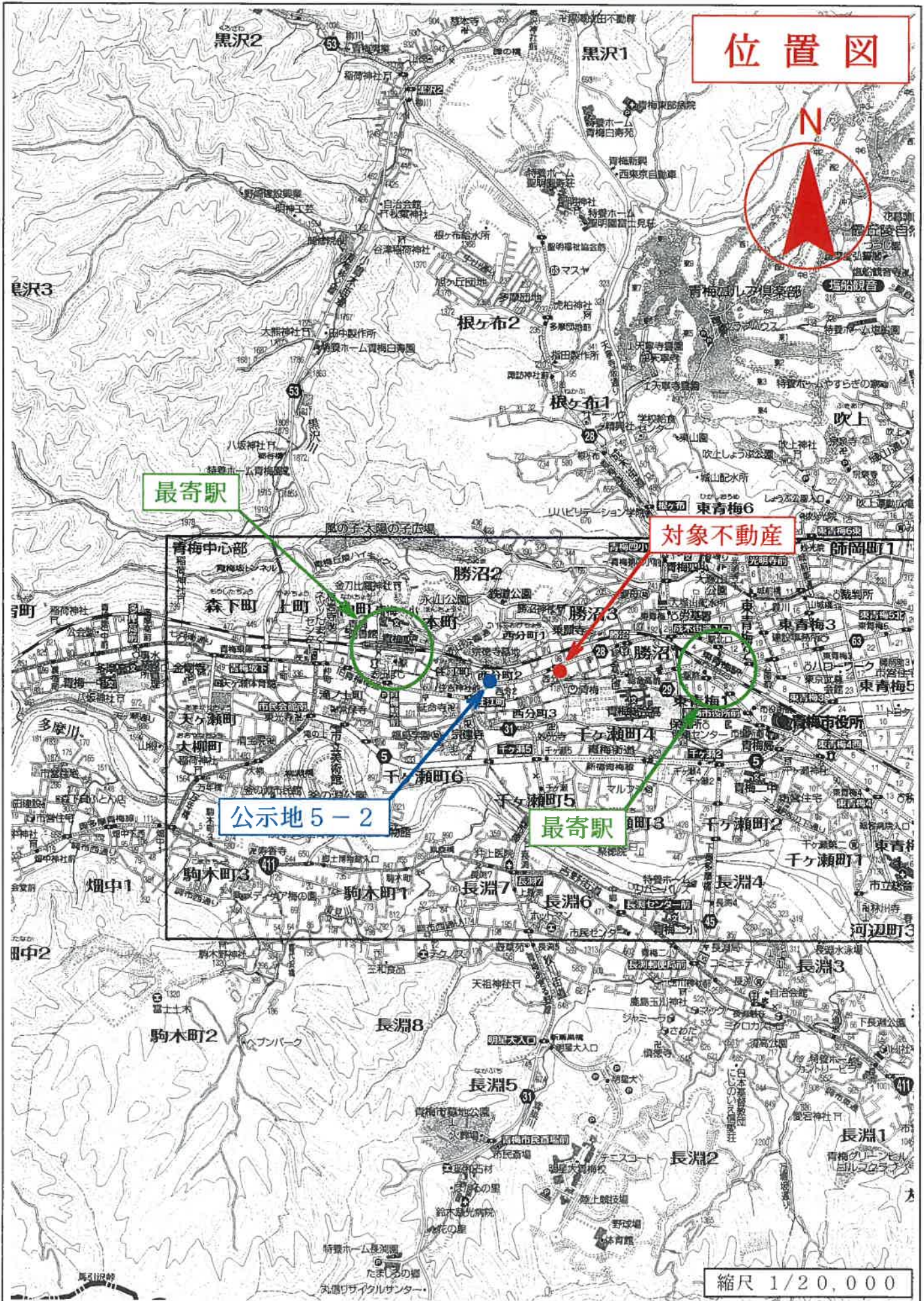
価 格 時 点	令和8年1月1日
所 在 及 び 地 番	青梅市西分町2丁目49番1外
1㎡当たりの価格	133,000円/㎡
地 積	221㎡
前面道路の状況	南12.5m都道
その他の接面道路	西側道
供給処理施設の状況	水道、ガス、下水
交通施設との接近状況	「青梅」駅 550m
法令上の制限	近商(80,300)、準防火
周辺の土地の利用状況	店舗併用住宅等が多い近隣商業地域

第7 附属資料

- 1 位置図
- 2 公図写
- 3 地積測量図写
- 4 建物図面・各階平面図写

以 上

位置図



対象不動産

最寄駅

公示地 5-2

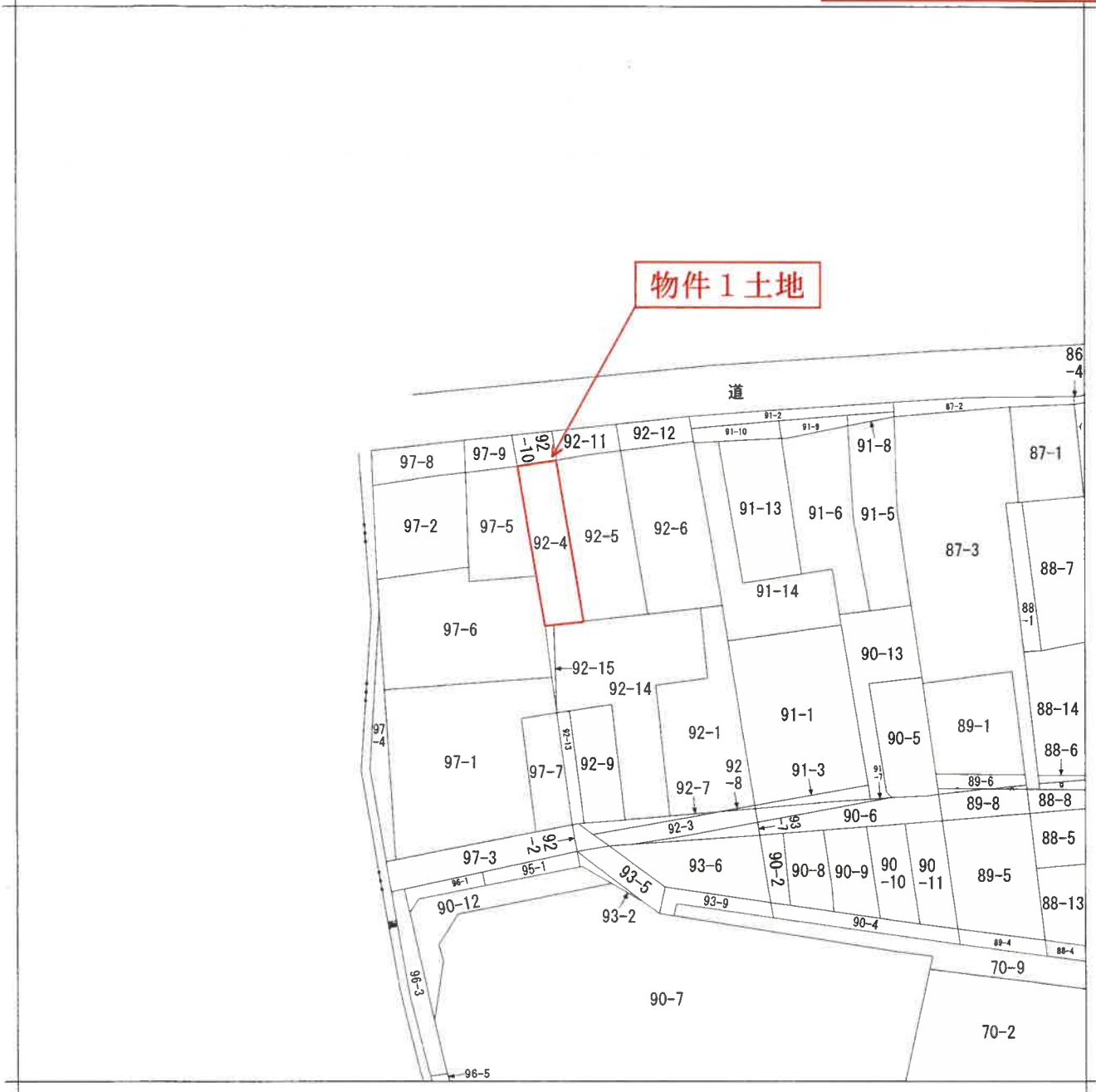
最寄駅

縮尺 1/20,000

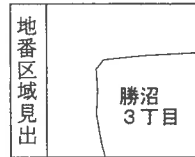
株式会社昭文社発行「都市地図」より複製

公図写

イ 86-1 ハ 89-10
ロ 88-9 ニ 89-9



(注) 地図に準ずる図面は、土地の区画を明確にした不動産登記法所定の地図が備え付けられるまでの間、これに代わるものとして備え付けられている図面で、土地の位置及び形状の概略を記載した図面です。



請求部	所在	青梅市勝沼三丁目			地番	92番4			
出力縮尺	1/600	精度区分		座標系又は記号	分類	地図に準ずる図面		種類	旧土地台帳附属地図
作成年月日				備付年月日(原図)		補記事項	方位不明		

これは地図に準ずる図面に記録されている内容を証明した書面である。

※赤字・赤枠等は評価人が記載(以下同様)

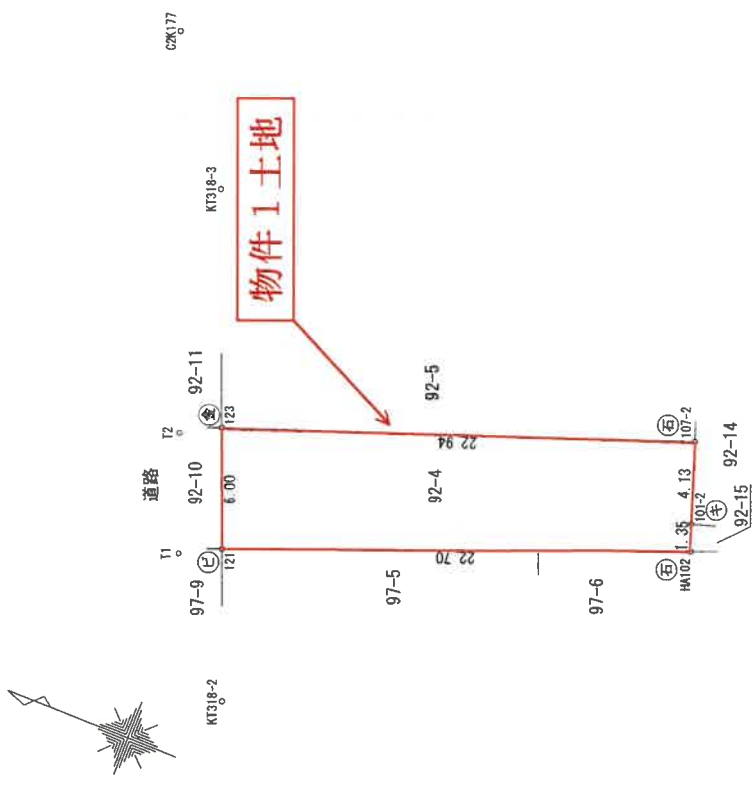
令和8年3月17日
東京法務局西多摩支局
登記官

請求番号：4-1
(1/1)

地積測量図写

地積測量図

地番 92番4
土地の所在 青梅市勝沼三丁目



座標求積表

地番	92-4	Xn	Yn	(Xn+1 - Xn-1)Yn	距離
測点	121	-23169.785	-51286.948	1199345.278980	22.70
	HA102	-23190.971	-51278.770	1063572.968570	1.35
	101-2	-23190.526	-51277.491	-92094.373836	4.13
	107-2	-23189.175	-51273.587	-1176216.085780	22.94
	123	-23167.586	-51281.359	-994345.551010	6.00
			倍面積	262.236924	
			面積	131.1184620	
			地積	131.11	m ²

境界点	種類	X座標	Y座標
K1318-2	都金属標	-23172.475	-51293.786
K1318-3	都金属標	-23163.306	-51270.482
T1	キザミ	-23167.942	-51287.914
T2	キザミ	-23165.779	-51282.320
C2K177	金属標	-23158.648	-51263.870
C2K178	金属標	-23169.258	-51311.413

境界標の種類	
①	石杭
②	金属標
③	鉄釘
④	キザミ
⑤	計算点

測地系	世界測地系 (2011)
座標系	区系
縮尺係数	0.999932
測量年月日	令和元年6月18日

申請人 [Redacted]

縮尺 250

製作者 [Redacted]

作成日 令和元年6月29日(作数)

登記年月日：令和1年7月4日

これは図面に記録されている内容を証明した書面である。

令和8年3月17日 東京法務局西多摩支局 登記官 [Redacted]

請求番号：4-2

A3をA4に縮小

建物図面・各階平面図写

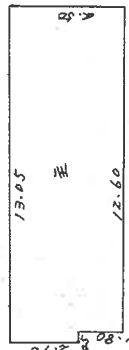
登記年月日：昭和52年3月9日

建物各階平面図

家屋番号	92-4
建物の所在	青梅市勝沼3丁目92番地4

各階平面図

1階



床積

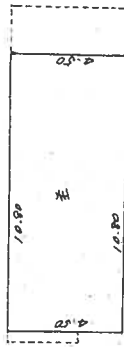
$$12.60 \times 4.50 = 56.7000$$

$$2.70 \times 0.45 = 1.2150$$

$$\text{計 } 57.9150$$

床面積 57.91 m²

2階



床積

$$10.80 \times 4.50 = 48.6000$$

床面積 48.60 m²

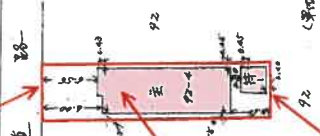
床積

$$2.40 \times 2.40 = 5.7600$$

床面積 5.76 m²

物件1土地

建物図面



物件2建物

符号1附属建物

006105

(日本土地家屋調査士会連合会用紙)

縮尺 1/200 1/500

(日調連15)

これは図面に記録されている内容を証明した書面である。
令和8年3月17日 東京法務局西多摩支局 登記官

登記官

請求番号：4-3